

# 自己評価結果公表

2023年度

## 1. のぞみ幼稚園教育目標

聖書を基にしたキリスト教教育を施し、神さまを愛し、人々に仕える子どもになるよう祈りつつ保育にあたっています。また、幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りに興味をもち、探求心や思考力、集中力をつけるように工夫した教育を目指しています。

## 2. 本年度目標・計画

- \* のぞみ幼稚園の保育を再確認し、縦割り保育の良さをさらに充実していく。
- \* 特別支援教育のためより良い人的、物的環境を整えていく。
- \* チーム保育をしていく上で教職員同士の共通理解を深めるとともに、情報伝達をスムーズにできるよう工夫していく。
- \* 園児一人ひとりの発達に応じた保育を考え取り組む。

## 3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
のぞみ幼稚園の保育を再確認し、地域の方々のニーズに応じていく。	園内で研修や勉強会をしてきた。保護者のニーズが多様化してきているので、できるだけ応えていけるよう努力している。
特別支援教育に関して、支援対象児への適切な保育を提供する。	毎週金曜日会議の中で個々の園児について話し合い、一人ひとりの成長に合わせて対応してきた。関係機関との連携で、助けを得られていることが良い評価につながっている。集団生活が出来ないが、判定が出ていない園児も少なくない。できるだけ個人を尊重しながら保育にあたってきた。
より良い教育の質の向上を目指して、教職員の研修を充実させる。	研修は十分だったとは言えないが、努力してきた。職員を増やして、教員が余裕をもてるようにした。これ以上職員を増やすと赤字になるところまできている。

	キャリアアップ研修にも参加して学んでいるが、時間的に教師の負担が大きい。保育と教育の質が更に向上することを願っている。
園児一人ひとりに合った保育を提供する。	一斉保育とは違い個々に合った対応ができるが、そのために一人ひとりをよく理解しなければならない。教職員同士のコミュニケーションを重視してきた。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は新型コロナウイルス感染症もひと段落した。しかし、今までコロナのため止めていたことを再開するにあたって、前の状態を知らない子どもたちと一部の先生なので継続してやってきたことに戻すには大変だった。地域に仕える幼稚園として、各家庭との連携を図り、より良い教育を目指していきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
保護者のニーズと満足度の把握	保護者会に来られない保護者の方々の意見等を把握していくため、個人面談を有効につかう。また ITC を活用する。
特別支援教育	家庭と医療機関との連携を図り、特に保護者の協力と理解を深めていくことにより、より適切な援助ができるように努力し続ける。
保健安全管理	保険安全計画に従い、さらに充実した内容で取り組んで行きたい。危機管理マニュアルに従って、教職員の意識を高めて行きたい。

#### 6. 学校関係者の評価

特に指摘するべき事項は特になく、妥当であると、認められる。  
教職員の仕事への良い姿勢がみられる。

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。